



2006年9月中間期決算説明

2006年6月

株式会社 篠崎屋 2926

<http://www.shinozakiya.com>

2006年9月中間期決算ハイライト

単位: 百万円	売上高	売上総利益	販管費	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	4,864	1,167	1,249	81	83	770
単体	1,384	457	615	158	153	463

利益率低下要因

単体粗利益率の低下 前年同期比7.4ポイント低下

05/10より製造卸参入のため、篠崎屋天狗の水海道工場及び当社小山工場の製造効率化

製造アイテム、人員構成を工場毎に見直し、生産効率化を図る

小山工場(木綿豆富、寄せ豆富) 水海道工場(絹豆富) 小山工場

大量生産体制に対応するため、ラインの増設

小山工場(絹豆富ライン)、水海道工場(木綿豆富ライン)

特別損失要因

期初計画における減損会計による損失215百万円計上

庄和・梅田・春日部工場の土地建物等、ドリーム・キャピタルの連結調整勘定

製造卸参入のため、篠崎屋天狗で05/10～06/3間に251百万円開業支援費として計上

子会社ドリーム・キャピタルの融資先にて貸倒引当金292百万円計上

小売新業態への融資分を保守的に引当

2006年9月中間期 連結P L

単位：千円	06/9中間期連結	百分比	05/9中間期連結	百分比	前年同期比
売上高	4,864,263	100.0%	1,065,786	100.0%	456.4%
小売事業	921,270	18.9%	609,391	57.2%	151.2%
外食事業	523,575	10.8%	400,750	37.6%	130.6%
卸事業他	3,419,415	70.3%	55,643	5.2%	6145.3%
売上原価	3,696,447	76.0%	634,941	59.6%	582.2%
売上総利益	1,167,816	24.0%	430,844	40.4%	271.1%
販管費	1,249,557	25.7%	413,863	38.8%	301.9%
人件費	389,162	8.0%	165,794	15.6%	234.7%
運賃	347,539	7.1%	87,137	8.2%	398.8%
地代家賃	59,572	1.2%	29,553	2.8%	201.6%
減価償却費	20,603	0.4%	11,985	1.1%	171.9%
営業利益	81,741	1.7%	16,980	1.6%	481.4%
経常利益	83,482	1.7%	121,465	11.4%	68.7%
当期純利益	770,734	15.8%	51,236	4.8%	1504.3%

2006年9月中間期 単体 P L

単位：千円	06/9中間期単体	百分比	05/9中間期単体	百分比	前年同期比
売上高	1,384,930	100.0%	1,065,786	100.0%	129.9%
小売事業	854,271	61.7%	609,391	57.2%	140.2%
外食事業	403,382	29.1%	400,750	37.6%	100.7%
卸事業他	127,276	9.2%	55,643	5.2%	228.7%
売上原価	927,878	67.0%	634,941	59.6%	146.1%
売上総利益	457,052	33.0%	430,844	40.4%	106.1%
販管費	615,509	44.4%	413,759	38.8%	148.8%
人件費	193,665	14.0%	165,794	15.6%	116.8%
運賃	146,430	10.6%	87,137	8.2%	168.0%
地代家賃	37,820	2.7%	29,553	2.8%	128.0%
減価償却費	15,438	1.1%	11,984	1.1%	128.8%
営業利益	158,456	11.4%	17,084	1.6%	927.5%
經常利益	153,269	11.1%	122,380	11.5%	125.2%
当期純利益	463,864	33.5%	60,217	5.7%	770.3%

セグメント別実績

連結

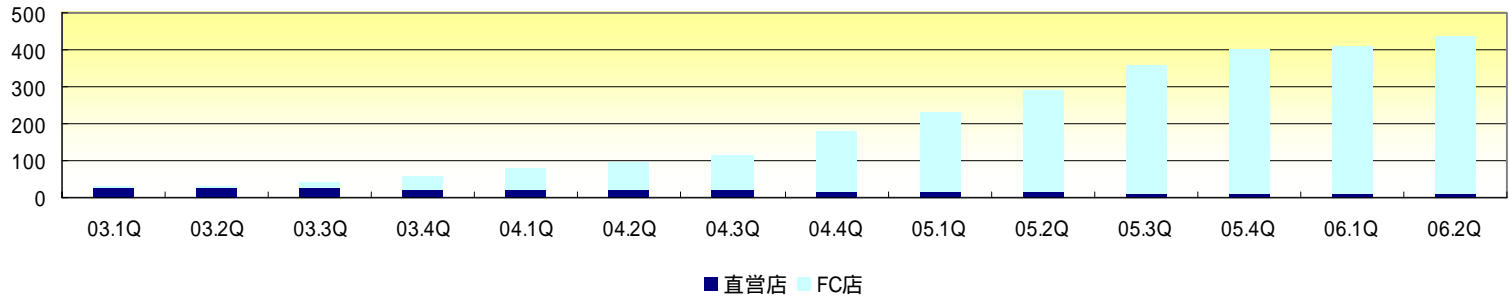
単位：千円	06/9中間期連結	05/9中間期連結	前年同期比	コメント
小売事業	921,270	609,391	151.2%	
直営店売上	233,688	160,167	145.9%	・ ドナテロウズ直営店5店舗、53百万円を含む
FC卸売上	670,667	419,670	159.8%	・ 工場直売所FC店は05/9中間期より152店増加
FC工事収入	66	1,821	3.6%	
FC加盟金収入	15,000	22,000	68.2%	
FCその他収入	1,849	5,733	32.3%	・ ロイヤルティはドナテロウズFC店舗分を含む
外食事業	523,575	400,750	130.6%	
直営店売上	165,435	57,494	287.7%	・ 大秦直営店舗売上92百万円を含む
FC卸売上	247,546	239,125	103.5%	
FC工事収入	3,787	8,108	46.7%	
FC加盟金収入	12,000	25,000	48.0%	
FCその他収入	94,806	71,022	133.5%	・ ロイヤルティは大秦FC店舗分を含む
卸事業その他	3,419,415	55,643	6145.3%	・ 本体における卸事業拡大 ・ 連結子会社ミズホ（1,773百万円）、楽陽食品（1,369百万円）等が寄与

単体

単位：千円	06/9中間期単体	05/9中間期単体	前年同期比	コメント
小売事業	854,271	609,391	140.2%	
直営店売上	180,253	160,167	112.5%	・ 茂蔵Deli直営店は05/9中間期より7店増加
FC卸売上	658,245	419,670	156.8%	・ 工場直売所FC店は05/9中間期より152店増加
FC工事収入	66	1,821	3.6%	
FC加盟金収入	15,000	22,000	68.2%	
FCその他収入	706	5,733	12.3%	・ チラシ、備品等
外食事業	403,382	400,750	100.7%	
直営店売上	72,813	57,494	126.6%	
FC卸売上	247,546	239,125	103.5%	
FC工事収入	3,787	8,108	46.7%	
FC加盟金収入	12,000	25,000	48.0%	
FCその他収入	67,235	71,022	94.7%	・ ロイヤルティ他
卸事業その他	127,276	55,643	228.7%	・ 本体における卸事業拡大

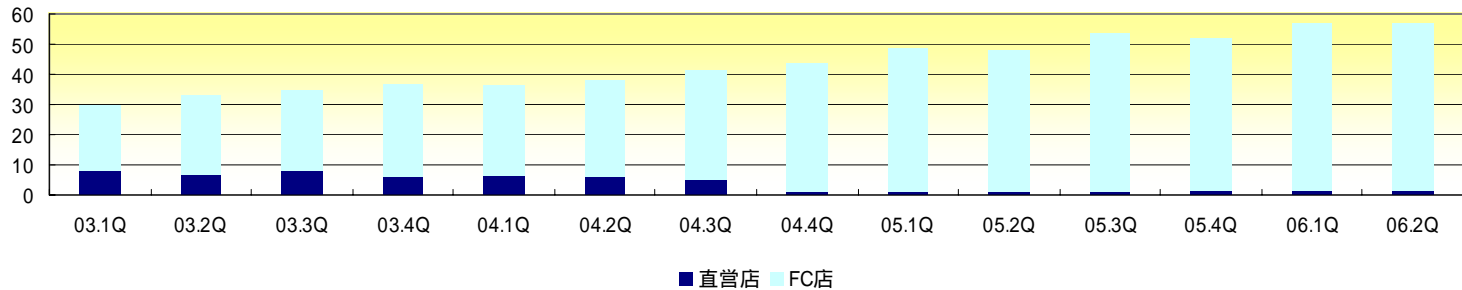
店舗出店推移

小売店舗推移



	03.1Q	03.2Q	03.3Q	03.4Q	04.1Q	04.2Q	04.3Q	04.4Q	05.1Q	05.2Q	05.3Q	05.4Q	06.1Q	06.2Q
店舗計	29	32	43	58	77	95	114	179	232	290	359	398	409	437
直営店	25	26	26	22	22	22	22	18	18	15	11	9	10	10
FC店	4	6	17	36	55	73	92	161	214	275	348	389	399	427
Tofu Sweets 茂蔵 FC店					1	4	6	8	10	11	13	15	16	15
茂蔵Deli ()内は直営店舗											37(3)	38(4)	12(4)	15(7)

外食店舗推移



	03.1Q	03.2Q	03.3Q	03.4Q	04.1Q	04.2Q	04.3Q	04.4Q	05.1Q	05.2Q	05.3Q	05.4Q	06.1Q	06.2Q
店舗計	30	33	35	37	36	38	41	44	49	48	54	52	57	57
直営店	8	7	8	6	6	6	5	1	1	1	1	1	1	1
FC店	22	26	27	31	30	32	36	43	48	47	53	51	56	56

2006年3月末現在店舗出店状況

【工場直売所】

	店舗数	直営店	FC店	うち兼業FC店
北海道・東北	30		30	(30)
関東	221	10	211	(205)
甲信越・北陸	30		30	(30)
東海	30		30	(30)
関西	63		63	(63)
中国・四国	34		34	(34)
九州・沖縄	29		29	(29)
合計	437	10	427	(421)

【Tofu Sweets 茂蔵】

	店舗数	直営店	FC店
北海道・東北	1	0	1
関東	6	0	6
甲信越・北陸	1	0	1
東海	0	0	0
関西	2	0	2
中国・四国	2	0	2
九州・沖縄	3	0	3
合計	15	0	15

【外食店舗】

	店舗数	直営店	FC店
北海道・東北	2	0	2
関東	37	1	36
甲信越・北陸	3	0	3
東海	4	0	4
関西	2	0	2
中国・四国	4	0	4
九州・沖縄	5	0	5
合計	57	1	56

【茂蔵Deli】

	店舗数	直営店	FC店
北海道・東北	0	0	0
関東	15	7	8
甲信越・北陸	0	0	0
東海	0	0	0
関西	0	0	0
中国・四国	0	0	0
九州・沖縄	0	0	0
合計	15	7	8



2006年9月中間期 連結BS

単位：千円	06/9中間期連結	05/9期連結	増減額	増減比	コメント
流動資産	4,121,426	2,760,309	1,361,117	149.3%	
現預金	1,100,801	954,933	145,868	115.3%	
売掛金	1,635,430	1,082,176	553,254	151.1%	
棚卸資産	253,538	62,492	191,046	405.7%	・ 本体53百万円、楽陽68百万円、サッポロ巻61百万円、等
固定資産	5,394,383	3,880,414	1,513,969	139.0%	
有形固定資産	3,018,885	1,897,928	1,120,957	159.1%	・ 05/9期末時点から、新たに4社を連結子会社化 ・ 水海道、下仁田の両工場を取得
無形固定資産	1,009,018	106,194	902,824	950.2%	・ 連結調整勘定867百万円
投資その他の資産	1,366,479	1,876,291	509,812	72.8%	・ 新規連結の子会社株式における調整等
資産合計	9,515,810	6,640,724	2,875,086	143.3%	
流動負債	3,053,437	1,296,062	1,757,375	235.6%	
買掛金	935,684	851,635	84,049	109.9%	
短期借入金	1,344,913	180,000	1,164,913	747.2%	・ 一年内返済予定の長期借入金を含む
固定負債	5,636,946	1,231,636	4,405,310	457.7%	
長期借入金	1,960,949	670,000	1,290,949	292.7%	
長期未払金	591,203	547,557	43,646	108.0%	・ 小山工場設備リース等
少数株主持分	36,858	26,105	10,753	141.2%	
資本合計	3,842,005	4,086,919	244,914	94.0%	・ 資本金2,328百万円（2006年3月末現在）
負債・資本合計	9,515,810	6,640,724	2,875,086	143.3%	

2005年9月期 連結CF

単位：千円	06/9中間期	05/9中間期
営業活動によるキャッシュフロー	347,946	129,922
投資活動によるキャッシュフロー	2,020,970	671,681
フリーキャッシュフロー	2,368,916	541,759
財務活動によるキャッシュフロー	2,514,784	1,736,047
現金及び現金同等物の期末残高	1,098,801	2,426,629

営業活動によるキャッシュフロー

税前中間純損失716百万円、開業支援費251百万円、等

投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産取得603百万円、新規連結子会社取得793百万円、
有価証券及び投資有価証券取得484百万円、等

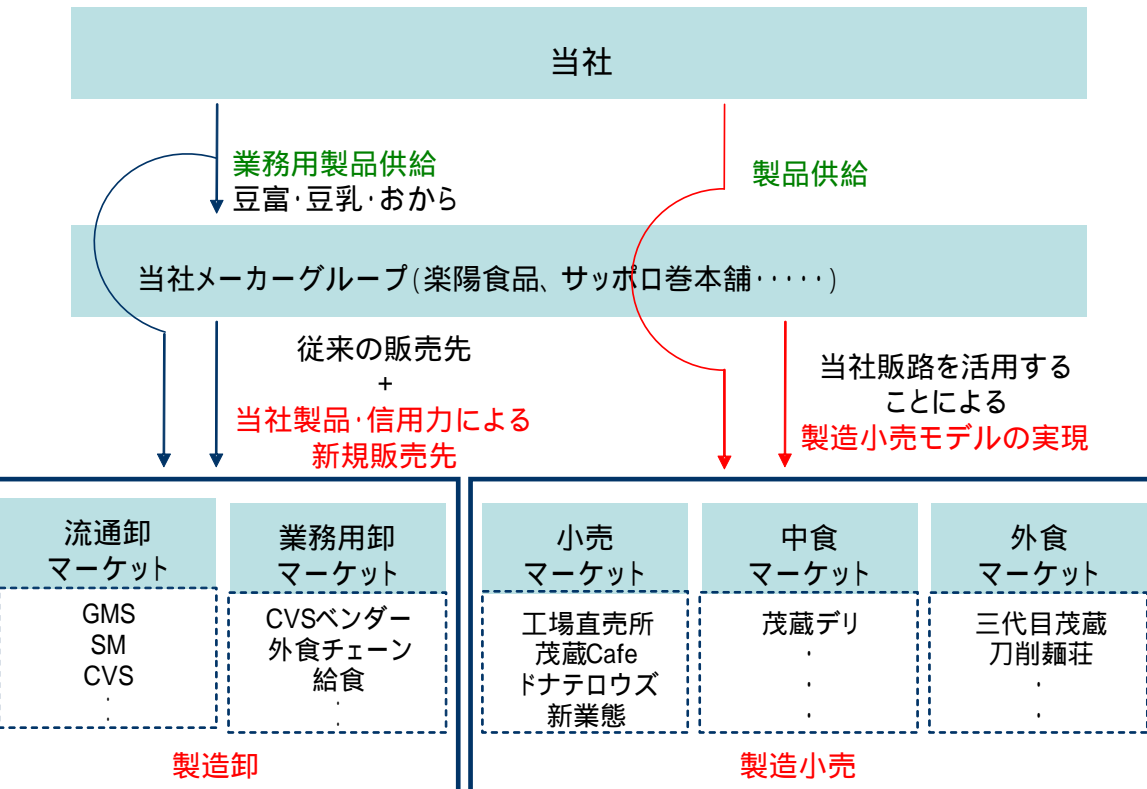
財務活動によるキャッシュフロー

長期借入1,840百万円、株式発行569百万円、等

06/9下期 事業方針

ビジネスモデルの進化

「製造小売」と「製造卸」の2つのモデルを構築することによりマーケットへの影響力を拡大



今下半期主要課題

製造卸モデルの構築

- 関東地区でシェア20%以上を目指す

製造小売モデルの更なる進化

- 販売網のブラッシュアップ
- 販売インフラの拡大・整備

外食ビジネスドメインの拡大

- グループ会社とのシナジー効果の発揮
- FCオーナーの活性化

グループ会社の経営基盤強化

製造卸ビジネスモデル構築手法

シェア拡大

利益率向上

同業他社

当社現状

当社将来

『安く』

差別的優位シェア

独占的市场シェア

販売費用

粗利

減価償却費

人件費

原材料費

M&Aにより安く工場取得

減価償却費減少

工場設備の効率化

人件費減少

減価償却費および人件費減少分

原材料費増加

売上増加
流通サイドの収益向上
当社グループへの依存度向上

稼働率向上
利益率向上

稼働率向上
固定費比率の低下

豆腐メーカーのグループ化により
短期間で達成

当社サイドが
価格支配力

『いいもの』

工場別の役割分担

■ 工場別製造アイテム

小山工場

絹ごし豆腐、豆乳、おから、湯葉豆腐、等

水海道工場

もめん豆腐、寄せ豆腐、油揚げ、がんも、等

下仁田工場

こんにゃく、ところてん、もずく、等

松伏工場

おからドーナッツ、外食系惣菜、等



絹3P豆腐ライン(小山)



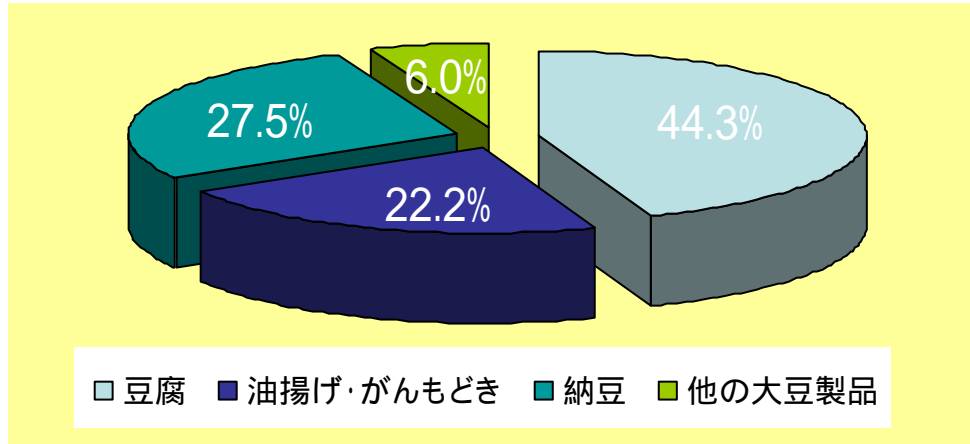
おからライン(小山)



もめん豆腐ライン(水海道)

大豆加工食品マーケット現状

■ 全国大豆加工食品

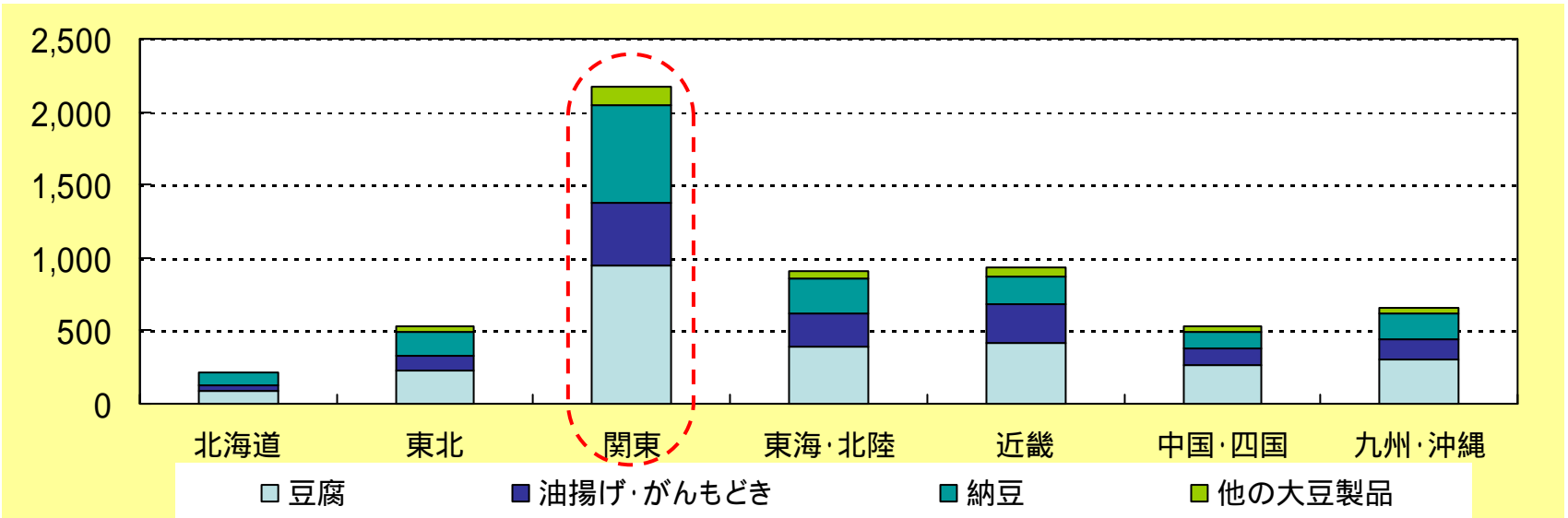


全国大豆加工食品マーケット
約6,000億円

内 関東の
豆腐、油揚げ・がんもどきで
約1,400億円

■ 地域別大豆加工食品

出所：総務省統計データより当社推定



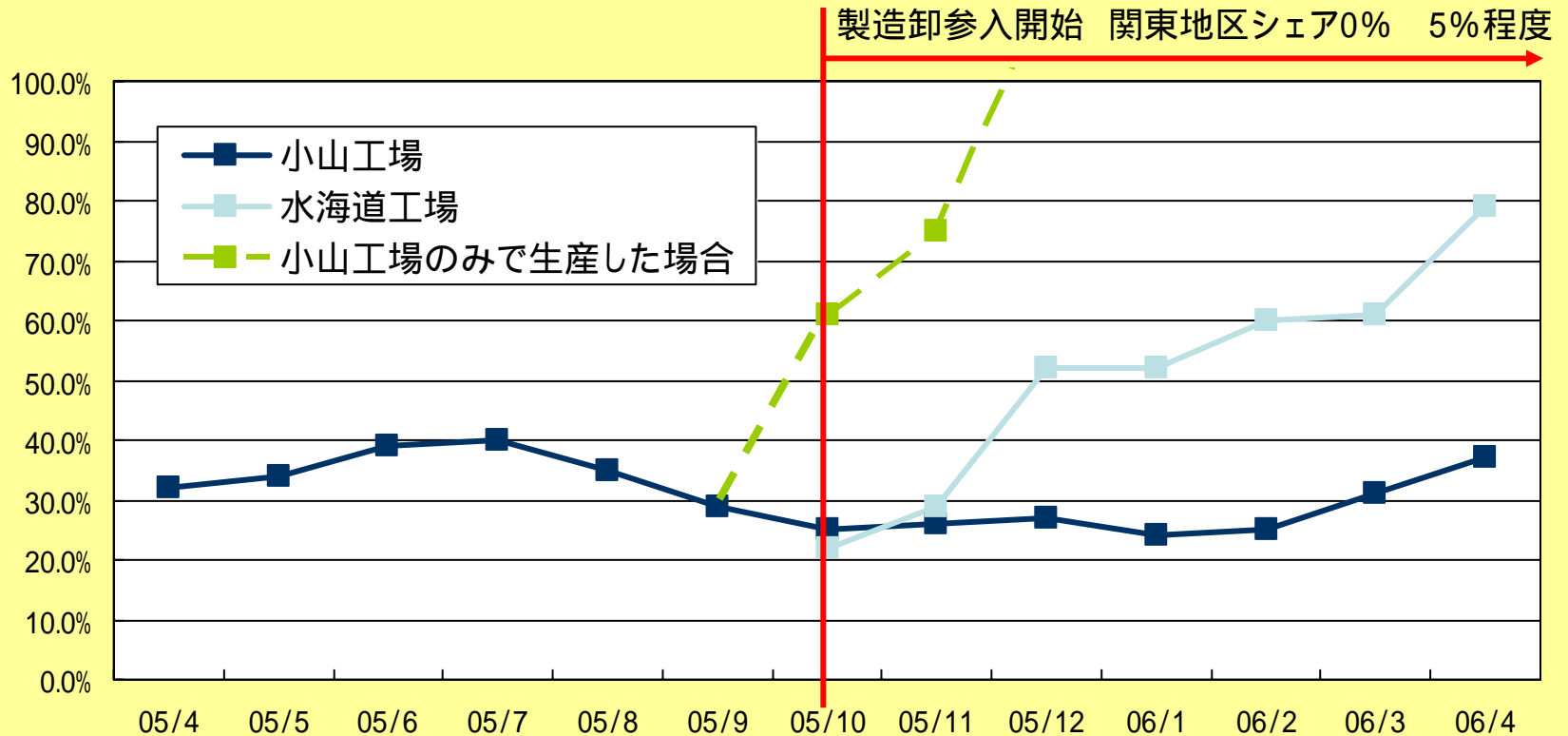
工場稼働率の推移

【自社工場稼働率100%時における生産量】

小山工場 日産最大生産量19万丁
水海道工場 日産最大生産量28万丁

合計最大47万丁体制構築

日産最大生産量は、300g豆腐換算で算出



日産100万丁体制の構築準備

早期に100万丁体制(含む油揚げ、がんもどき)を整備構築

小山工場、水海道工場で現状47万丁
業務提携先等で50万丁以上



合計約100万丁のポテンシャル

関東地区でのシェア20%以上を目指す

現状で小山工場、水海道工場がフル稼働体制を構築した場合

47万丁で130億円程度の影響力を想定

関東地区でのシェアは約9% (130億円 ÷ 1,400億円)

約100万丁のポテンシャルが具現化した場合は300億円程度の影響力

関東地区でのシェアは約20%以上 (300億円 ÷ 1,400億円)

工場直売所の今後の対応

工場直売所の現状・課題

オープン時 顧客単価 (500円程度で落ち着く) 来客数 来客数、顧客単価

四半期ごとにイベント(豆乳、新豆、季節商品祭り等)

【原因】 オープン当時の店舗鮮度感の低下、ストアーロイヤルティの低下

今後の対応

中小地場食品メーカーへ製造小売ビジネスモデル提案

当社製品(地代、人件費の確保) + 自社製品(収益源の多様化)で製造小売店舗を展開
(兼業FCから専業FCタイプの店舗形態へ)

年間4店舗程度(四半期毎)を商店街に出店できるメーカーを対象に検証中
(現状、関東地区中心に20社程度で検証)

早期全国100社体制を構築

年間400店舗の出店が可能(4店舗 × 100社) 地域ごとに販売アイテム増加

当該モデルを酒飯店等へ提案し、専業FC化を図る

外食事業戦略

ビジネスドメインの拡大



(株)大秦のグループ化 中国西安の刀削麺、点心を看板商品とした中華業態
(株)ドナテロウズジャパンのグループ化 ジェラートを中心としたスイーツ業態



大秦 当社のFCノウハウによりFCパッケージを構築
ドナテ 直営5、FC6店舗 当社のFCノウハウによりFCパッケージの再構築
今期 計画



大秦 直営1店舗、FC転換10店舗、新規出店6店舗を計画
ドナテ 商業施設を中心にFC新規出店6店舗を計画

FCオーナーの活性化



タスコシステムとの業務提携による役割分担

タスコシステム

当社

外食事業FC本部

商品メニュー開発、業態開発



大秦もFC本部をタスコシステムに委託し、
商品・メニュー開発及び中華料理スタッフの人材派遣会社へモデル転換

2006年9月期業績予想

単位: 百万円	売上高	経常利益	当期利益
製造グループ			
篠崎屋(単体)	4,229	151	470
サッポロ巻本舗	458	12	9
楽陽食品	2,781	40	8
白石興産		20	20
販売グループ			
ミズホ	3,600	114	67
ドナテロウズ	500	13	5
大秦	155	6	6
金融グループ			
ドリーム・キャピタル	76	17	281
連結合計	11,510	13	723

お問合せ先

【担当者】

経営企画部長
兼 IR室長

沼寄 昭宏

TEL : 048・970・4949 FAX : 048・970・4889

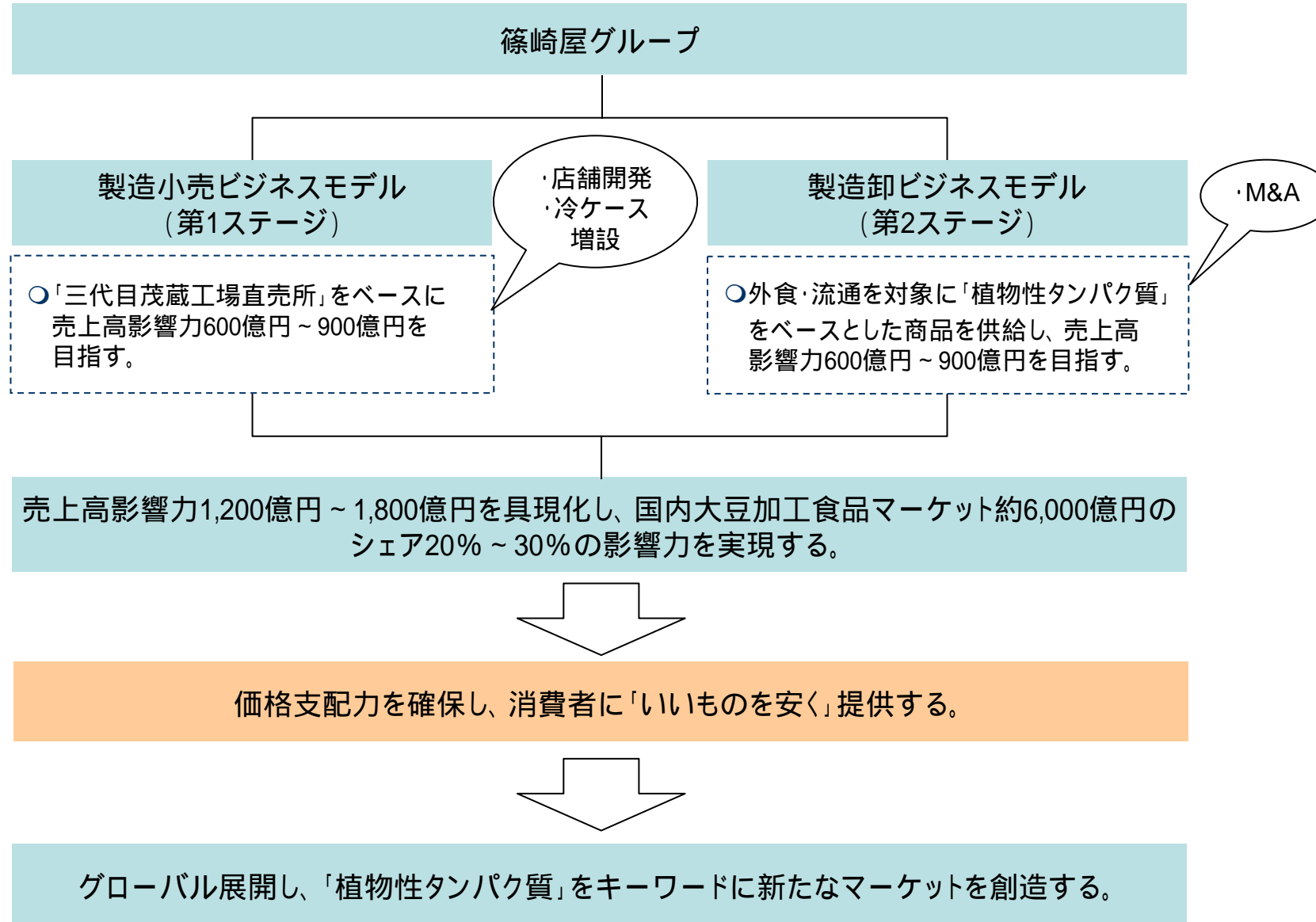
E-Mail : ir@shinozakiya.com

URL : <http://www.shinozakiya.com/>

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2006年3月末現在の財務データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

APPENDIX

中長期ビジネス・ビジョン



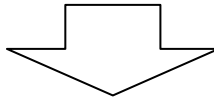
第2ステージ基本戦略

価格支配力を確保し、消費者に「いいものを安く」提供する。

- 第1ステージはベンチャー・リンクとの提携で全国展開への基盤構築の可能性が高まってきたため、05/9期より第2ステージの製造卸モデルを構築するための準備を開始する。

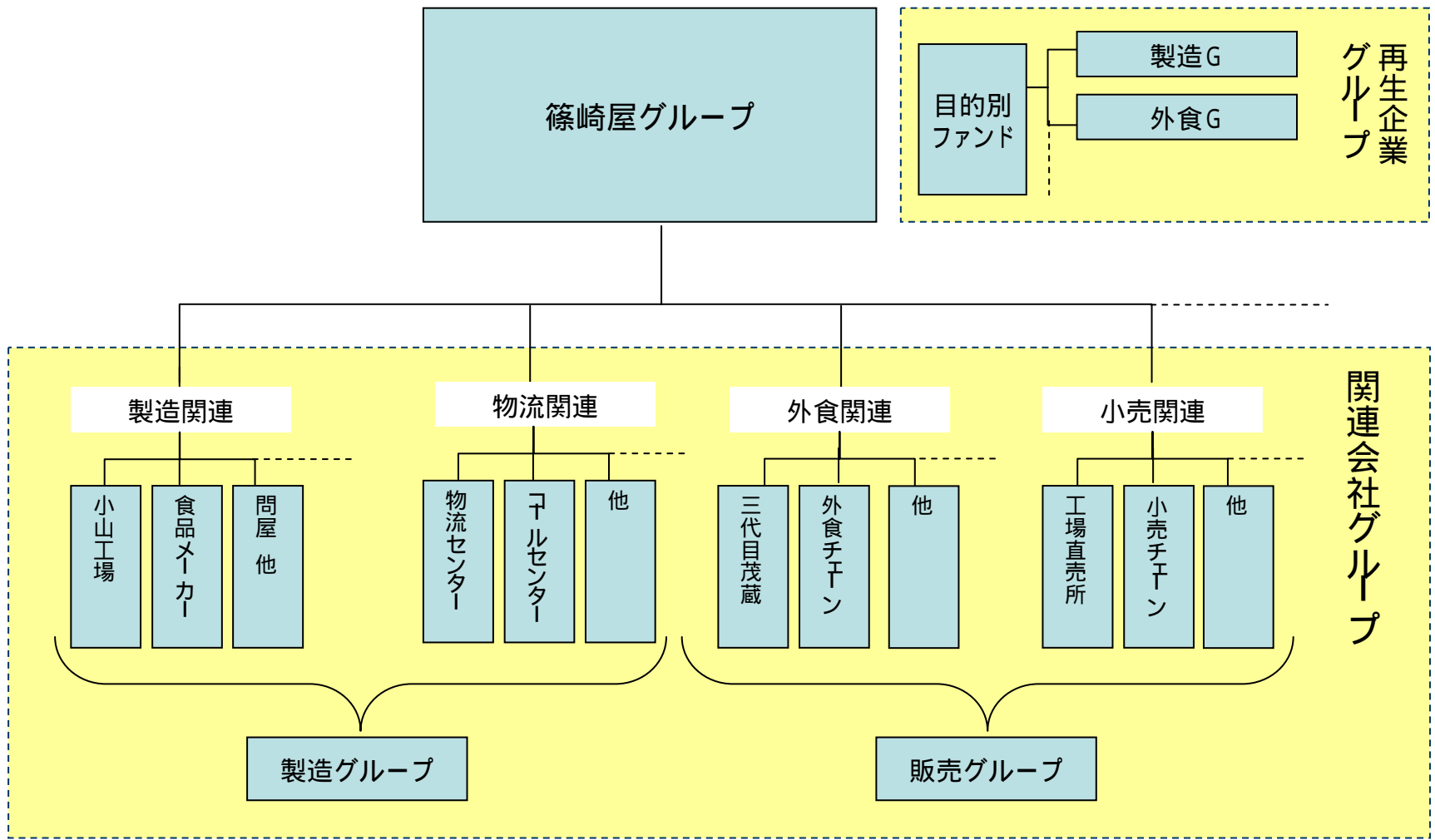
第2ステージ基本戦略

- 更なるシェア拡大を目指し製造卸モデルをグループ内で内製化する。
 - 目標として製造卸の「篠崎屋グループ」ブランドでのマーケットシェア10～15%
- 製造小売と合わせて全国シェア20%～30%獲得し、価格支配力持つことにより消費者に「いいものを安く」提供できるビジネスモデルの基盤を第2ステージまでに完了する。



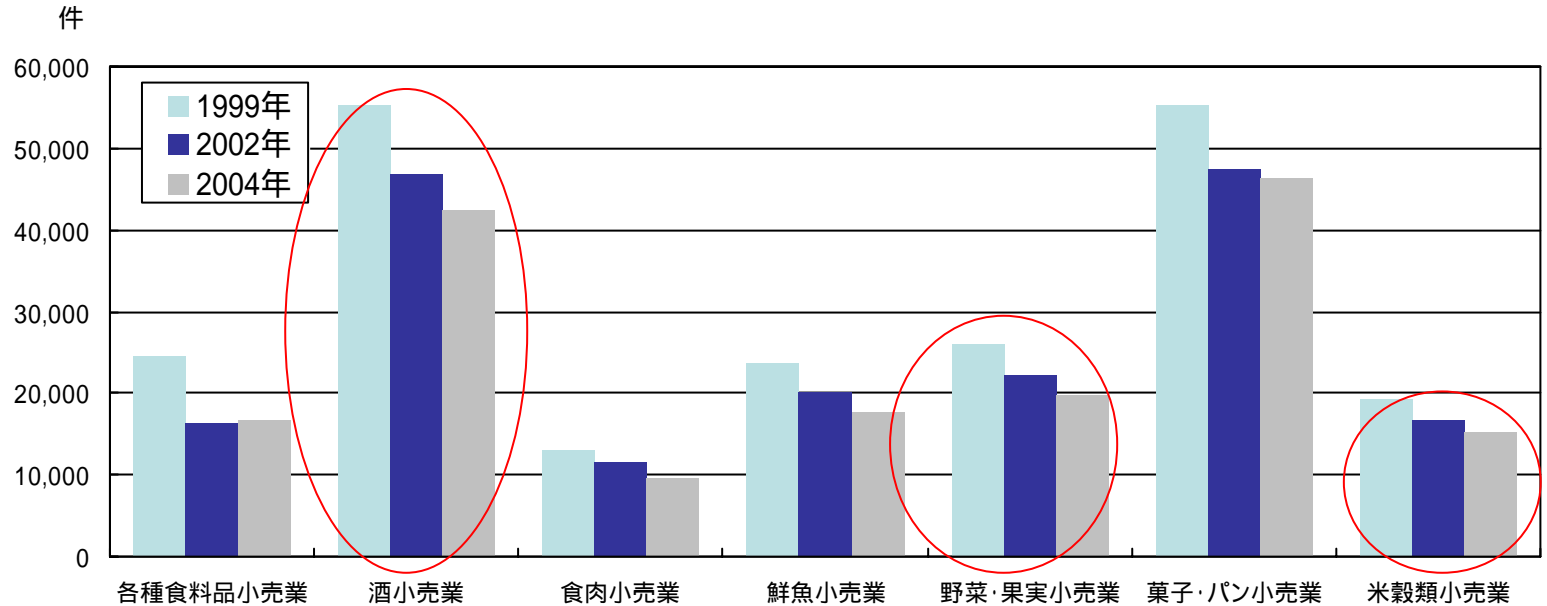
- 資本提携を前提としたアライアンス等による業務用卸先の開拓
 - いいもののベースとなっている当社の原材料供給先を開拓
 - 他社外食チェーンとの関係強化
- 新たなブランドの構築
 - M&A・ファンド等を利用し、食品関連企業をグループ化し対象企業のブランドで流通シェアの拡大を図る。

グループイメージ



小売業(商店街)の現状

個人事業主店舗数推移



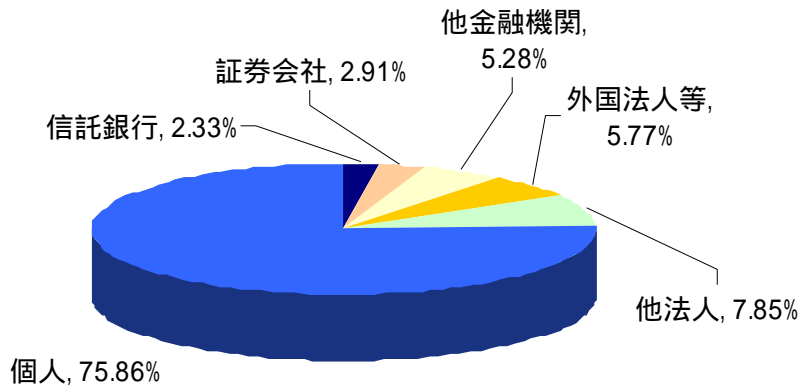
産業分類小分類	1999年			2002年			2004年		
	合計	法人	個人	合計	法人	個人	合計	法人	個人
各種食料品小売業	50,215	25,715	24,500	36,615	20,206	16,409	38,536	21,801	16,735
酒小売業	77,668	22,397	55,271	65,097	18,258	46,839	60,194	17,730	42,464
食肉小売業	19,066	6,101	12,965	17,215	5,590	11,625	14,829	5,238	9,591
鮮魚小売業	29,878	6,144	23,734	25,485	5,463	20,022	23,027	5,361	17,666
野菜・果実小売業	34,243	8,310	25,933	29,820	7,425	22,395	27,731	7,862	19,869
菓子・パン小売業	88,119	32,855	55,264	76,914	29,284	47,630	77,670	31,441	46,229
米穀類小売業	26,523	7,286	19,237	22,620	5,892	16,728	20,961	5,656	15,305
その他の飲食料品小売業	156,501	63,255	93,246	192,832	76,798	116,034	181,745	78,729	103,016

出所: 経済産業省「商業統計調査」。2004年数値は速報ベース。

株主状況

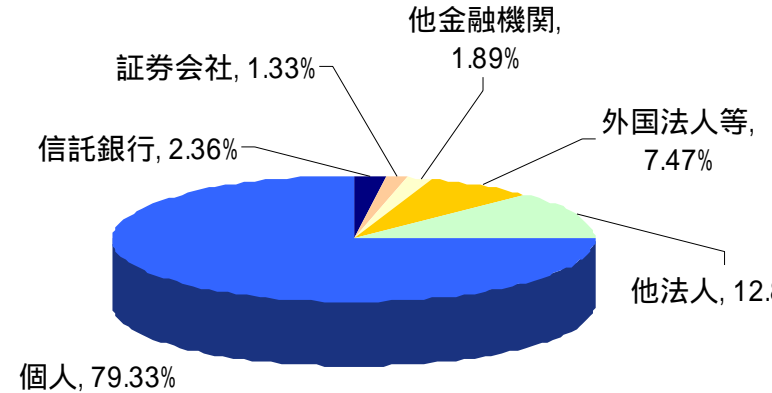
2005年9月期

株主数7,185名



2006年9月中間期

株主数7,649名



(2006年3月末現在)

設立	1987年1月24日
代表者	代表取締役社長 樽見茂
資本金	23億2千8,341,941円
発行済株式数	133,166株
従業員数	124名

(2006年3月末現在)

株主名	持株比率
樽見茂	25.34%
ジェイ・ブリッジ(株)	5.55%
エイチエスピーシーファンドサービスズアカウント006	2.37%
(株)鈴木物産	2.25%
(株)ホンダトレーディング	2.25%
樽見浩	1.80%
ドイチェバンクアーゲーロンドンピービーノントリティクライアーツ613	1.40%
内川幹夫	1.23%
中山文博	1.23%
矢立実	1.23%